

きんもくせい

病院だより

vol.82

令和2年
3月号

病理診断科

～迅速に!正確に!適切な治療を行うための病理診断～



▲ 病理診断科医師と検査技師

本院が標榜する科のひとつに「病理診断科」があります。

患者さまから採取した細胞や組織（細胞の集まり）を顕微鏡で細部まで調べ、病気の有無や種類などを診断しています。

「病理診断科」は患者さまと接することはほとんどありませんが、病理医が行う病理診断は確定診断または最終診断とされ、治療方針の決定など主治医の診療に活用されます。

全国的に見ても病理医の数が少ない中、本院には常勤医1名が在籍しており、浜松医科大学の協力のもと、細胞検査士の資格をもつ検査技師、関係機関と連携しながら病理診断業務や研修医教育にあたっています。また、病理医がいることで担当医（主治医）との情報共有を綿密に行えるため、患者さまによりよい医療を提供することが可能となります。

患者さまへ一層質の高い医療を提供するために、これからも邁進していきます。

病院だより「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。



〒436-8555
掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

TEL 0537-21-5555



スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください

病理診断科って何？

病理診断科 医長 すずき だいすけ 鈴木 大介 医師

病院だより「きんもくせい」をお読みの皆様、こんにちは。今月号は病理診断科から寄稿させていただきます。まず病理診断科についてタイトルのように思われる方が大半かと思いますが、無理ありません。なぜなら通常は直接患者さまに受診いただける科ではないからです（一部例外はあります）。したがって今回は「病理診断科」の主な業務をご紹介します（女優・芦田愛菜さんに興味があると言っていた仕事でもあります！）。

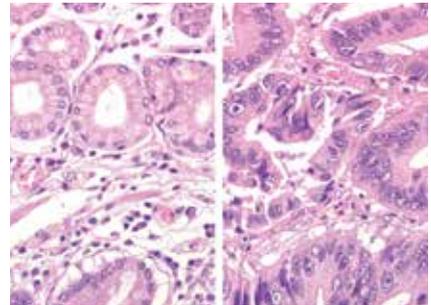
まずは当科の根幹「病理診断」について説明します。「病理診断」とは個々の細胞や、その細胞が集まって機能を発揮する組織（臓器の元）について、主に顕微鏡で観察して病気の診断をするものです。

難しく聞こえるかもしれませんがで例をあげてみましょう。あなたは胃が痛いと感じて病院を受診したとします。胃カメラ検査をしたところ、胃に何か見つかったため、医師に「組織をとって調べます」と言われました。この組織を顕微鏡で調べるのが病理診断科医（病理医）です。調べた組織が「胃炎」か「胃がん」かで、治療方針に大きな差が生じます。「胃炎」ならば内服治療（胃酸を止める薬やピロリ菌を殺す薬）で済むのが、「胃がん」だと切除（早期がん…内視鏡的切除、進行がん…手術）の必要性などが生じます。

「がん」の最終的な診断は基本的に病理医により行われます。したがって病理診断科は各科の司令塔的な役割が求められます。臓器問わず幅広い医学的知識が必要とされ責任は重大ですが、やりがいがあります。何より細胞や組織が織りなす世界は、想像以上に広く興味深いです。

その他の重要な業務に病理解剖などありますが、紙面の関係上今回はこれで終了させていただきます（詳しくは病理医が主人公の漫画・ドラマ「フラジャイル」もご参照ください）。

今後とも当科をよろしく願っています。



▲正常な細胞(左)と、いびつな形のがん細胞(右)

看護部通信

チーム医療に貢献するために～3年目を振り返って～

5階東病棟は外科を主科とし、眼科、泌尿器科、消化器内科を副科にもつ病棟です。外科系の病棟ですので、手術を受ける患者さまが多くいらっしゃいます。そんな当病棟には、男性看護師が3名在籍しており、和気あいあいとした雰囲気でも率先して対応してくれます。

そのナースマンの1人、三ツ谷梢吾看護師に入職3年目となる今年度を振り返ってもらいました。



▲三ツ谷梢吾看護師

「とても多くのことを経験できた1年だったなと思います。特に、病棟チームのリーダー体験は自分を成長させてくれました。チームをまとめるためにどう行動するか、何を考えるか…自分が想像していた何倍もやるべきことがあり、たくさんの学びがありました。来年度からは本格的にリーダー業務を任せられるようになります。この1年で学んだことをいかし、さらに頑張っていきたいです。」

病棟では一人ひとりが個々で働いているように見えますが、チームで一致団結して業務を行っています。チームリーダーはまとめ役となるため、患者さまの様々な情報を把握し、スムーズに看護を行えるようにする役割もあります。

女性が多い職場でナースマンも頑張っています。私たちはこれからも知識と技術を磨き、地域の皆さまに心のかもった看護を提供できるよう努力していきます。

5階東病棟 廣川実由紀

令和元年度 患者満足度調査結果報告(抜粋)

外来及び入院患者さまを対象としたアンケートを実施しましたのでご報告いたします。

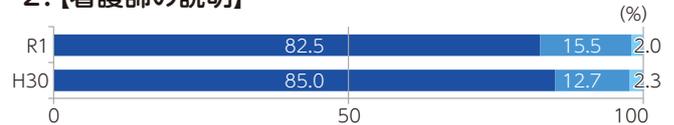
	調査実施日	有効回収数(回収率)
外来	令和元年11月18日(月)～22日(金)	996件(回収率66.4%)
入院	令和元年11月1日(金)～29日(金)	378件(回収率84.0%)

【外来】 ■満足・やや満足 ■普通 ■やや不満足・不満足

1.【医師の応対】



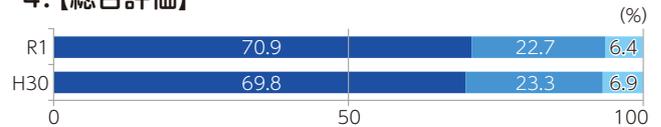
2.【看護師の説明】



3.【待ち時間(診療終了から会計終了まで)】



4.【総合評価】



【入院】 ■満足・やや満足 ■普通 ■やや不満足・不満足

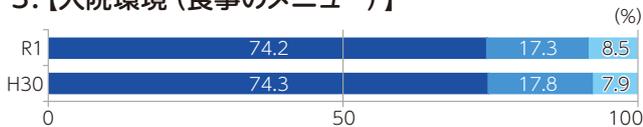
1.【医師の応対】



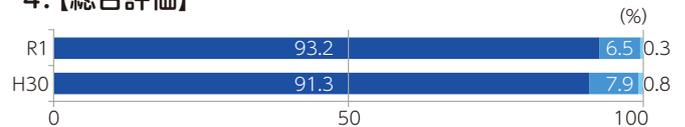
2.【看護師の説明】



3.【入院環境(食事のメニュー)】



4.【総合評価】



調査結果及び皆さまからいただいた貴重なご意見等を踏まえ、引き続き患者満足度を含め医療の質の向上に取り組んでまいります。調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

うつらない!うつさない!今こそ感染対策を実践しましょう

感染症は予防がとても大切です。自分に「うつらない」、他の人に「うつさない」ために、今すぐできる予防法を確認しましょう。

こまめな手洗い



マスクの着用



咳エチケット



この他に、アルコールによる手指消毒も効果的です。

また、人ごみへの外出はなるべく控え、十分な睡眠と食事をとるように心がけましょう。

1月の 診療実績

1日あたりの患者数		病床利用率	81.4%
入院	407人	平均在院日数	10.5日
外来	1,211人	手術件数	390件
紹介率	72.7%	救命救急センター受診者数	1,522人
逆紹介率	102.8%	救急搬送件数	473件

■受付時間:午前7時45分~11時00分
■診療時間:午前8時30分~
■緊急手術や学会等への出席のため、急に休診となる場合や担当医師が変更となる場合があります。

2020年2月14日情報

Table with columns: エリア, 診療科, 診察室, 月, 火, 水, 木, 金, お知らせ. Rows include departments like 整形外科, 外科・消化器病センター, 循環器内科, 脳神経外科, 脳神経内科, 血液内科, 総合内科, 呼吸器内科, 腎臓内科, 糖尿病・内分泌内科, 消化器内科, 麻酔科, 歯科口腔外科, 緩和ケア外来, 産婦人科, 泌尿器科, 皮膚科, 小児科, 眼科, 耳鼻いんこう科, 腫瘍放射線科, 血液浄化センター.

※(初):初診,(再):再診,(予):予約,(紹):紹介 ※午後は予約のみ
□入院患者さんへの面会時間 平日:午後1時~午後8時 土、日、祝日:午前11時~午後8時